

SWITCH 4

UNIT 1

下水を利用した再生可能エネルギー

出典

Cukavac, Tyrus. "Paris Looks to Its Miles of Underground Sewers for Energy to Heat Buildings" *scholastic.com*. 13 Apr. 2011.
<http://www.scholastic.com/browse/article.jsp?id=3756023>)

背景知識

私たちの便利で快適な生活は、大量のエネルギー消費によって成り立っている。しかし、**エネルギー資源**の大部分が有限であることや、これらの燃料を燃やす段階で放出される二酸化炭素が気候変動の原因となっている可能性があることなどから、新たなエネルギー源の開発が課題となっている。

フランス・パリでは、市内に張り巡らされた**下水道**を流れる下水を熱源として利用するシステムの開発と実用化を進めており、世界中で同様の研究が行われている。

用語

◆renewable energy

再生可能エネルギー。一度利用しても短期間で再生が可能で、枯渇しないエネルギーのこと。太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など。

◆nonrenewable resources

再生不能資源、枯渇性資源。総量が限られており、消費するといずれ枯渇してしまう資源のこと。石油や天然ガスなど。

◆greenhouse gas

温室効果ガス。太陽からの熱を地球表面に封じ込める働きを持つ気体のことで、地球温暖化の原因とされる。二酸化炭素やメタン、フロンなど。

◆Nicolas Sarkozy

ニコラ・サルコジ。フランスの政治家で元大統領（任期：2007-2012）。

◆biogas

バイオガス。家畜の糞尿や食品廃棄物、下水道・汚水などの有機ゴミを発酵させた結果得られる可燃性のガスで、燃料として利用できる。

参考 URL

- 注目の新エネルギー源、下水の熱 | ナショナルジオグラフィック日本版サイト
<http://natgeo.nikkeibp.co.jp/nng/article/news/14/7267/>)
- 下水熱でスマートなエネルギー利用を～まちづくりにおける下水熱活用の提案～ | 国土交通省
<http://www.mlit.go.jp/common/000986040.pdf>)

SWITCH 4

UNIT 2 世界言語としての英語の広がりと国家のアイデンティティ

背景知識

英語は世界で最も多くの国で話されている言語である。それだけに他の言語と接触する機会も多く、英語と別の言語との**混成語**が数多く存在する。しかし、ヨーロッパには、自らの言語が英語に「侵食」されることに危機感を感じ、それを食い止めようとしている人々もいる。

話者の増減が単純に数の問題に留まらないのは、言語が、「自分は何者か」「どこに属すのか」というアイデンティティを左右するものだからであり、自分や国家の存在を揺るがすと感じる人がいるからである。

用語

◆hybridization

混成。異なる言語同士が接触した結果、両者の混じった新たな言語が生じること。

◆Spanglish

スパングリッシュ。スペイン語と英語の混成語で、主にアメリカ合衆国で英語とスペイン語を用いて生活するヒスパニック系の人々が話す言語。

◆Hispanic

ヒスパニック。中南米のスペイン語圏にルーツを持つ米国人。近年米国内において人口が急増しており、将来的には多数派になることも予想されている。

◆Denglish

デングリッシュ。ドイツ語と英語の混成語。ドイツ語圏において使われる、英語の借用語を織り交ぜたドイツ語。

◆Goethe

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ (Johann Wolfgang von Goethe) [1749-1832]。ドイツを代表する文豪で、詩人、小説家、劇作家、自然科学者、政治家。代表作は『若きウェルテルの悩み』『ファウスト』など。

◆Lufthansa

ルフトハンザドイツ航空。ドイツ最大の国際航空会社。

◆McDonald's / Burger King

マクドナルド／バーガーキング。アメリカの2大ハンバーガーチェーン店。

参考 URL

○世界の言語別使用人口 | 文部科学省

(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryo/05120501/s003.pdf)

○セルジュ・アリミ「英語を世界の統一言語にしてはならない」 | 『ル・モンド・ディプロマティーク』日本語・電子版 2013 年 6 月号

(<http://www.diplo.jp/articles13/1306langueunique.html>)

○A Snappy Slogan? In German? Don't Smile. Try English. | The New York Times
(<http://www.nytimes.com/2004/12/21/international/europe/21denglish.html>)

SWITCH 4

UNIT 3

テクノロジーの発達が引き起こす社会問題

背景知識

インターネットをはじめとする**テクノロジーの発達**によって、私たちは様々な**情報**に簡単にアクセスできるようになった。それは私たちの生活を便利なものにする反面、多くの問題をはらんでいる。

アメリカでは、子供たちが刺激的な情報にさらされることや、運動不足になるという問題も指摘されている。また社会全体にも、情報の配信が公正に行われているかどうかを判断する技量が求められている。

用語

◆Clear Channel

クリア・チャンネル（2014 年、アイハートメディア “iHeartMedia” に社名変更）。米国内で 850 を超えるラジオ局を運営し、複数のテレビ局や屋外広告を所有する巨大メディア企業。

◆type 2 diabetes

二型糖尿病。血液中のブドウ糖が正常より多くなる病気。肥満や運動不足などの生活習慣に起因することが多い。

◆freedom of speech

言論の自由。個人が言論によって思想や意見を発表する自由。米国でも日本でも個人の権利として憲法で保障されている。

◆digital divide

デジタルデバイド。パソコンやインターネットなどの情報技術（IT）を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる、待遇や貧富、機会の格差。

参考 URL

○中高生のネット利用の問題点 — キミのミライ発見

(<http://www.wakuwaku-catch.net/中高生のネット利用の問題点/>)

○デジタルデバイドとは？ | みんなのおかねドットコム

(<https://minnkane.com/news/5385>)

SWITCH 4

UNIT 4

都市鉱山と資源リサイクル

背景知識

電子機器廃棄物の「ゴミ」の山を、貴金属類やレアアースを含む宝の山と捉える「都市鉱山」という概念がある。パソコンや携帯電話などの普及により、不足しがちな原料を調達する手段として、都市鉱山ビジネスは急成長してきた。

資源のリサイクル自体は奨励されるべきことだが、有害物質も多く含む廃棄物からの回収作業を発展途上国に丸投げしているケースも多く、今後産業として永続させるためには、環境やルールの整備が不可欠だろう。

用語

◆e-waste

電子機器廃棄物，廃電気・電子製品。
electronic and electrical wastes の略。廃棄されたテレビやパソコン，冷蔵庫などの電気・電子製品を指す。有害物質を含むものが多く，廃棄による環境問題も引き起こしている。

◆urban mining

都市鉱山。使い終わった家電製品や携帯電話の廃棄物の山が，部品として使われている貴金属やレアメタルなどの金属資源の宝庫とみなす考え方。

◆precious metal

貴金属。金・銀・白金のように，産出量が少なく高価な金属。

◆rare earth mineral

レアアース鉱物，希土類鉱物。金属の中でも希少な「希土類」と呼ばれる元素グループを含む鉱物。パソコンやスマートフォンなどに不可欠な原材料で，需要の拡大が予想されている。

◆third world

第三世界。アジア，アフリカ，中南米などの発展途上国を指す。

参考 URL

○都市鉱山 | NIMS レアメタル・レアアース特集

(<http://www.nims.go.jp/research/elements/rare-metal/urban-mine/>)

○Kids 環境 ECO ワード「都市鉱山」

(http://www.eco-word.jp/html/05_haikibutu/ha-15.html)

SWITCH 4

UNIT 5

訪日外国人旅行者の増加と対応

背景知識

日本の成長戦略の1つとして、観光関連産業への期待が高まっている。「観光立国」が政策として掲げられてから、これまでのような「待ち」の姿勢ではなく、観光客を引きつけるための具体的な方策がいくつも取られてきた。

外国人観光客にとって便利なまちづくりの努力が続けられているが、物理的な準備だけでなく、異文化・異言語の人々を受け入れる側の心の準備も大切である。

用語

◆ tourism nation

観光立国。観光資源を整備し、観光客を誘致することで、経済を支える基盤の1つにすること。日本では2003年に初めて政策として掲げられた。

◆ Japan Tourism Agency

観光庁。日本の「観光立国」の推進体制を強化するために設立された、国土交通省の外局。

◆ Visit Japan Campaign

外国人旅行者訪日促進戦略。国土交通省が中心となって行っている、観光地の整備や外国人旅行者向け商品の開発、ツアー旅行の宣伝・広報などの取り組み。

◆ pictogram

絵文字、絵単語。事柄や情報を文字以外のシンプルな図記号で表したもの。

◆ ATM

(銀行や郵便局などの) 現金自動預け払い機。automated[automatic] teller machine の略。

参考 URL

○観光庁

(<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>)

○日本政府観光局 (JNTO)

(<http://www.jnto.go.jp/jpn/>)

○多言語メニュー作成支援ウェブサイト | 東京都

(<http://www.menu-tokyo.jp/menu/>)

SWITCH 4

UNIT 6

エネルギー貯蔵システム

背景知識

私たちの生活は電力なしには成り立たないが、一時に供給できる電力量には限度がある。特に夏の昼間などの需要が集中する時間帯に効率的に電力供給するために、**エネルギーを貯蔵**する方法が模索されている。

貯蔵の方法としては、夜間の余剰電力を使って電気を力学的エネルギーに変えておくのが現在のところ一般的だが、電力をより効率よく低コストで安定供給できるよう、他の方法も研究が進められている。

用語

◆ pumped-storage hydropower (PSH)

揚水発電。高さの異なる 2 つの貯水池を備え、電力需要がピークの昼間は上の貯水池から水を落下させるエネルギーを使って発電し、夜間に余剰電力を使って下の貯水池から上の貯水池に水を汲み上げるシステム。

◆ compressed-air energy storage (CAES)

圧縮空気エネルギー貯蔵。空気を圧縮して貯蔵しておき、必要なときに放出して発電機に流し込むエネルギー貯蔵装置。

◆ argon gas

アルゴンガス。空気中に約 0.934 パーセント存在する希ガスの 1 つ。無色・無臭で、白熱電灯・蛍光灯などの充填ガスに用いられる。

参考 URL

○日本の発電力の供給量割合[最新版] (火力・水力・原子力・風力・地熱・太陽光等) | Sustainable Japan

(<http://sustainablejapan.jp/2015/02/24/electricity-proportion/13961>)

○揚水式水力発電 | 電気事業連合会

(<http://www.fepc.or.jp/enterprise/hatsuden/water/yousuishiki/>)

SWITCH 4

UNIT 7 価格はどうのように消費者の購買行動を左右するか

出典

Ariely, Dan. (2008), *Predictably Irrational: The Hidden Forces That Shape Our Decisions*, HarperCollins.

背景知識

一般に人々は、製品の**価格**が上昇すれば、消費を抑えるようになる。このとき私たちは「この製品にこれだけのお金を払う価値はない」と判断していると考えられるが、果たして本当に消費者は商品価値と価格を比較しているのだろうか。

筆者はこの従来の経済理論に疑問を呈し、実際の人間がどのように選択し、行動するのかを観察することによって、心理が経済活動に与える影響を明らかにしようとした。本文では、「実は人々は以前の価格の記憶との比較で消費行動を決めているのだ」という仮説のもとに、彼の考察が示されている。

用語

◆ market price

市場価格。市場で商品が取引される価格。需要と供給との関係によって決まる。

◆ Nike

ナイキ。アメリカの大手スポーツ用品メーカー。

◆ corn-based ethanol fuel

トウモロコシ由来のエタノール燃料。トウモロコシを発酵、蒸留させて生産される。CO₂ 削減効果があるとして期待されている。

参考文献・URL

○ダン・アリエリー(著), 熊谷淳子(訳)『予想どおりに不合理: 行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ」』(早川書房)

○ダン・アリエリー: 我々は本当に自分で決めているのか? | TED

(http://www.ted.com/talks/dan_ariely_asks_are_we_in_control_of_our_own_decisions?language=ja#t-100157)

○心理的価格設定 — 消費者の心理や行動が基準 — マーケティングの本質がわかる厳選キーワード | 日経 Biz アカデミー

(<http://bizacademy.nikkei.co.jp/marketing/mkeyword/article.aspx?id=MMACzr003030072012>)

SWITCH 4

UNIT 8

テクノロジーの進歩による「地球村」化

背景知識

世界のグローバル化を急速に進めているのが、インターネットをはじめとするテクノロジーの進歩である。人・もの・情報の移動は地球規模になり、人間の行動の選択肢も広がった。

しかし、進歩が必ずしも我々の暮らしや環境を改善しているわけではないということは、現代に生きる私たち皆が薄々気づいていることである。世界中の人類が手を取り合い共存するという理想は否定されるべきではないが、文化的背景の異なる人やものが交わりあうことの影響を考えた上で、自分たちが本当にそれを望むのかを考える時期に来ている。

用語

◆globalization

世界化、国際化。特に経済活動や文化などが国境を越えて世界的規模に拡大していくこと。

◆global village

地球村。通信手段の発達によって、地球全体が1つの村のように緊密な関係をもつようになったという考え方。

◆multi-national

多国籍（企業）の。

参考 URL

○考えようくらし・調べよう経済 グローバル化 | [けいざい]わかるかも教室
(<http://kids-econ.com/think/kurakei/kurakei14.html>)

○グローバル化と国際化ってどう違うの? | ITmedia ビジネスオンライン
(<http://bizmakoto.jp/makoto/articles/1301/11/news010.html>)

SWITCH 4

UNIT 9

書の力

出典

Kerr, Alex. (1996), *Lost Japan*, Lonely Planet.

背景知識

美術品と言えば、最もポピュラーなのは絵画であろう。しかし、筆者はあえて書の魅力について、その歴史とともに語っている。

日本文化にも精通した筆者は、歴史的に有名な俳人、あるいは画家の書を収集しており、書に対する造詣の深さでも知られる。筆の持つ高い表現力が、書家の心を書に映し出し、見る人の心に訴えかけるところに魅力があるのだという。

用語

◆Ikeno Taiga

池大雅（いけの たいが）[1723-1776]。日本の江戸時代の文人画家、書家。

◆Buson

与謝蕪村（よさ ぶそん）[1716-1784]。江戸時代中期の日本の俳人、画家。

◆Sen no Rikyu

千利休（せん の りきゅう）[1522-1591]。戦国時代から安土桃山時代にかけて活躍した茶人。織田信長、豊臣秀吉に茶の師匠として仕えた。

◆Hokusai

葛飾北斎（かつしか ほくさい）[1760?-1849]。江戸時代後期の浮世絵師。『富嶽三十六景』が有名。

◆Trammell Crow

トラメル・クロウ[1914-2009]。不動産開発会社を経営。東洋美術の愛好家。

◆Napoleon and Josephine

フランス皇帝ナポレオン[1769-1821]と妻ジョセフィーヌ[1763-1814]。ナポレオンは戦地から多くの手紙を妻宛てに送っている。

◆Ikkyu

一休宗純[1394-1481]。室町時代の臨済宗大徳寺派の僧、詩人。戒律にとらわれない自由奔放な言動で庶民に慕われた。書や絵にも優れていた。

◆Shinju-an temple

真珠庵。京都にある大徳寺の塔頭（＝小院）。一休を開祖として創建された寺院。

◆Founder's Hall

開山堂。祖師堂とも。仏教寺院において開山の像を祀る堂のこと。

参考 URL

○美術 | Web Japan

(http://web-japan.org/factsheet/archives/ja/pdf/J24_art.pdf)

○大徳寺真珠庵 | 京都春秋

(<http://kyotoshunju.com/?template=daitokuji-shinjuan>)

SWITCH 4

UNIT 10

インターンシップを成功させるには

出典

Schawbel, Dan. "How to Make the Most Out of Internships" *TIME.com*. 7 Dec. 2011.
(<http://business.time.com/2011/12/07/how-to-make-the-most-out-of-an-unpaid-internship/>)

背景知識

日本でも「インターンシップ」という言葉を耳にする機会が増えてきている。大学生が企業での就労体験を通じて自らのキャリアデザインを構築できるように支援するための制度であり、元々はアメリカが起源である。

本文は、この制度がすでに浸透しており、就職に直結しているアメリカの記事であることを念頭に、日本の現状と比較しながら読み進めたい。

用語

◆internship

インターンシップ。学生に、社会や企業について知り、自らの進路選択に役立てさせるために、一定期間企業などで就業体験をさせる制度。

◆Jean Chatzky

ジーン・チャツキー。アメリカの金融ジャーナリストで、月刊誌「マネー」、「USA ウィークエンド」の名物コラムニスト。

◆routine task

定型業務。作業内容があるパターンに決まっており、臨機応変に対応する要素があまりない業務。

◆full-time job

フルタイム [常勤] の仕事。事業所の所定労働時間の全時間帯を働く勤務形態。

◆LinkedIn

ビジネスに特化した SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の名称。個人のビジネスに関する情報を公開し、会社や組織を超えて人材を広く検索できる。

参考 URL

- インターンシップの推進に当たっての基本的考え方 | 文部科学省・厚生労働省・経済産業省
(http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2014/04/18/1346604_01.pdf)
- 「短期型」「長期型」インターンのメリット・デメリット | @IT
(<http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0906/29/news092.html>)
- 「インターンシップ」という観点から見た日本と海外の違い。| Via career
(<http://via-career.jp/frees/article/9/>)

SWITCH 4

UNIT 11

昆虫のフェロモン

背景知識

生物が分泌する化学物質である「フェロモン」は、異性を引き付けるという働きが有名だが、実は他の個体の行動や生理条件に働きかけるものすべてを指すので、その機能は様々である。

昆虫の出すフェロモンは多くの科学者の興味や研究の対象となっており、本文ではアリやチョウ、ガなどの不思議な行動がどのようにフェロモンに影響されているのかを紹介している。

用語

◆pheromone

フェロモン。動植物などが体外に分泌する化学物質で、別の個体に作用して、ある特定の行動や生理的变化を起こす。

◆“alarm” pheromone

「警報」フェロモン。昆虫が仲間に危険を知らせるために体から出す分泌物。

◆“trick” pheromone

「トリック」フェロモン。別の種のフェロモンににおいを似せるなど、相手をだます目的で分泌されるフェロモン。

◆fire ant

カミアリ。ヒアリ（火蟻）とも。毒針を持ち、刺されると激しい痛みと腫れが続く。

◆Large Blue butterfly

アリオンゴマシジミ。シジミチョウ科のチョウ。アリの巣の中で育ち、羽化する。

参考 URL

○フェロモンの種類とその利用

(<http://www.jppn.ne.jp/miyazaki/200/500/yougo/1.htm>)

○アリはなぜ道にまよわないの | 学研キッズネット

(http://kids.gakken.co.jp/jiyuu/idea_db/826.html)

SWITCH 4

UNIT 12 他者との距離を決める「パーソナル・スペース」の概念

出典

Pease, Allan and Pease, Barbara. (2006) *The Definitive Book of Body Language*, Bantam.

背景知識

人と話をするとき、相手との間にどのくらい距離を置くのかは人によって様々である。それは、相手と物理的に心地よい距離感を保ちたいというほとんど無意識の欲求の表れであり、逆に言えば、他者にこれ以上近づかれると不快であるという領域「パーソナル・スペース」の確保でもある。

領域の広さは人それぞれだが、その存在を理解することは円滑な人間関係を構築する助けになるだろう。

用語

◆personal space

パーソナル・スペース、個人の空間領域。自分の周囲の心理的ななわばり。これ以上は他者を近づけたくないという心理的領域。

◆air bubble

気泡 [バブル]。パーソナル・スペースとほぼ同義。身体を取り巻く気泡のような空間を心理的なわばりになぞらえている。

◆the Intimate Zone

親密領域。パーソナル・スペースの一区分。最も近い人だけが入れる、肉体的に最も近い領域。

◆the Personal Zone

私的領域。パーソナル・スペースの一区分。友人や同僚が近づける領域。

◆the Social Zone

社会生活領域。パーソナル・スペースの一区分。あまりよく知らないがコミュニケーションをとる必要がある人たちが近づける領域。

◆the Public Zone

公衆領域。パーソナル・スペースの一区分。大人数のあまり知らない人たちとの間に取る距離。

参考 URL

- 心理学用語「パーソナル・スペース」 personal space | goo ヘルスケア
(<http://health.goo.ne.jp/mental/yougo/025.html>)
- E. ホールのパーソナル・スペースと縄張り意識・空間行動
(http://esdiscovery.jp/vision/word001/psycho_word25002.html)

SWITCH 4

UNIT 13

思考や感情が身体に与える影響

出典

Nakazawa, Donna Jackson. (2008), *The Autoimmune Epidemic*. Touchstone/Simon and Schuster.

背景知識

「ナン・スタディ (the Nun Study)」という有名な研究領域がある。修道女の人生を対象に、若年期の過ごし方が老年期の健康にどう影響するのかを追跡調査するプロジェクトである。

修道院という同じ場所で同じような時を過ごしてきた彼女たちの、老年期の健康状態に違いをもたらした要素は何であったのか。それは、人がどう生きれば、よりよい状態で人生の終焉を迎えられるのかのヒントを私たちに与えてくれる。

用語

◆journal writing

自叙録。研究対象となった修道女たちが、修道院に入った 20 代の頃に書いた半生記。

◆the Nun Study

修道女研究。1986 年、デヴィッド・スノードンが修道女を対象に、加齢と病気の間関係を明らかにすることを目的として始めた研究。対象者である修道女の生活や医療の記録、さらに死後には研究のために脳も提供されている。

◆stressor

ストレス要因。ストレスを引き起こす物理的・精神的要因。

◆immune system

免疫系。体外から侵入した異物や細胞・組織から体を守るために、生物の体内に存在する防御機構。

参考文献・参考 URL

- ドナ・ジャクソン・ナカザワ(著), 石山鈴子(訳)『免疫の反逆』(ダイヤモンド社)
- デヴィッド・スノウドン(著), 藤井留美(訳)『100 歳の美しい脳—アルツハイマー病解明に手をさしのべた修道女たち』(DHC)
- Positive Emotions in Early Life and Longevity : Findings from the Nun Study
(<https://www.apa.org/pubs/journals/releases/psp805804.pdf>)
- The Nun Study | TIME
(<http://content.time.com/time/photogallery/0,29307,2042630,00.html>)

SWITCH 4

UNIT 14

森林破壊と気候変動による生物多様性の危機

出典

Corker, Barbara Dr. "Biodiversity and Conservation" *biodiversity article*.
<http://www.countrysideinfo.co.uk/biodvy.htm>

背景知識

森林は動植物の生息・生育空間として豊かな生態系を構成し、気候の変動を緩和するものである。私たち人間は当然のようにその恩恵を受けて暮らしている。しかし、世界中で森林破壊が進んでおり、その原因の多くは人間活動によるものである。

自然の作りあげた生態系のバランスが崩されつつある今、私たちを取り巻く環境に起こり始めた変化にきちんと目を向ける必要がある。

用語

◆ biodiversity

生物多様性。様々な生物の種が維持され共存していること。

◆ deforestation

森林破壊 [伐採]。開発などによって森林が失われること。環境問題の1つ。

◆ greenhouse gas

温室効果ガス。太陽からの熱を地球表面に封じ込める働きを持つ気体のことで、地球温暖化の原因とされる。二酸化炭素やメタン、フロンなど。

◆ global warming

地球温暖化。地球の平均気温が上昇すること。温室効果ガスの増加が大きな要因で、温暖化が進むと異常気象が起きやすくなると考えられている。

◆ Ice Age

氷河期。地球の気候が長期にわたって寒冷化し、氷河が著しく発達した期間。

参考 URL

○森林の持つ大切な役割 | 環境省

(http://www.env.go.jp/nature/shinrin/index_1_4.html)

○Kids 環境 ECO ワード「森林破壊」

(http://www.eco-word.jp/html/02_sinrin/si-09.html)

SWITCH 4

UNIT 15

最後までがんばること

出典

Covey, Stephen M. R. (2006), *The Speed of Trust: The One Thing that Changes Everything*. Free Press.

背景知識

“finish strong”という英語の表現がある。日本語に直訳するのは難しいが、「力強く終える」、つまり、あきらめずに**最後までがんばり抜く**，というようなニュアンスだ。

筆者は、自身の意思で始めたことを投げ出してしまいたい状況に陥った息子に、自分のモットーであるこの言葉を実践させた。そして私たちに、この精神が単に目の前の状況を変えることに留まらず、その後の人生の様々な局面に影響を及ぼすのだと教えてくれている。

用語

◆season

シーズン。スポーツにおいて公式試合が開催される季節を指定する制度。アメリカの高校では年間が3シーズンに分けられ、各シーズンに提供されるスポーツも決まっている。

◆finish strong

最後までがんばる，やり遂げる。

◆motto

モットー。日常の行動指針として心掛けている事柄・言葉。

参考 URL

- “夏はプロ野球選手，冬はアメフト選手”を生み出す，アメリカの体育事情 | エデュケーションプレス

(<http://www.edu-press.jp/column/09/05.html>)

- 入部にも試験が！ アメリカのバスケットボールが強いわけ

(<http://www.fitness.co.jp/magazine/kaigai/007.html>)

SWITCH 4

UNIT 16

異文化間結婚の難点と利点

出典

Samovar, Larry A., Porter, Richard E., McDaniel, Edwin R. (2009). *Communication Between Cultures 7th edition*. Wadsworth Publishing.
<http://course.sdu.edu.cn/Download/6a200514-34ca-4ab0-b25b-053cae8ea852.pdf>

背景知識

他人同士が家族として暮らすことになる結婚には、それだけで検討しなければならないことがたくさんあるが、文化や言語が異なる**異文化間結婚**ともなれば、問題はもっと複雑である。

特に**使用する言語**は大きな問題で、当人同士の力関係や、子供を含めた個々人のアイデンティティ形成にも影響を及ぼす。しかし、大きな課題を共有する家族は、きずなを強め、深い異文化理解を手に入れるチャンスもまた大きい。

用語

◆intercultural[mixed] marriage

異文化間結婚。異なる文化・言語で育った2人の結婚。

◆gender-role expectations

性役割期待。男女それぞれが、その性別ゆえに取ることを社会的に期待されている役割。

◆native tongue

母語。幼児期に自然に習い覚えた言語。

◆bilingual

バイリンガル。二か国語を、場面や状況に応じて自由に使いこなせる人。

参考 URL

- 国際結婚とは呼べない国際結婚？ | All About
<http://allabout.co.jp/gm/gc/221276/>
- 国際結婚した家庭でも難しい！子供がバイリンガルに育たない理由とは？
http://www.huffingtonpost.jp/2013/11/24/bilingual_n_4334492.html
- 国際結婚に注目集まる ― 「マッサン」効果？ | nippon.com
<http://www.nippon.com/ja/features/h00096/>

SWITCH 4

UNIT 17

BRICs 経済圏の女性

出典

Hewlett, Sylvia Ann. "Is a Woman in Brazil Better Off than a Woman in the U.S.?" *Time*. 24 October 2011.

背景知識

BRICs（ブラジル、ロシア、インド、中国）経済圏の牽引力として、女性たちが注目されてきている。学歴をつけ、働く意欲を持った女性の数も増え、それを後押しする制度も整備されてきた。

米国人女性の筆者は、西洋諸国とは異なる環境とそれゆえ独自の課題にも目を向け、女性が働くとはどういうことかという普遍的なテーマについて考えるきっかけを与えてくれている。

用語

◆emerging economies

新興経済諸国。経済が発展途上にあり、急速な成長が見込まれる国。

◆the BRIC economies

BRICs 経済圏。2000 年代以降に経済発展を遂げた、ブラジル、ロシア、インド、中国の 4 か国の総称。

◆work-from-home

在宅勤務。自宅にしながら会社の仕事をする勤務形態。

◆extended maternity leave

出産休暇の延長。

◆eldercare

老人介護。

◆dynamo

原動力。

参考 URL

○ジェンダーギャップ指数 2016 年版 | 転職グッド

(<http://jobgood.jp/global-gender-gap-report>)

○BRIC 諸国の若い世代もワーク・ライフ・バランスを重視する | DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー

(<http://www.dhbr.net/articles/-/2310>)

SWITCH 4

UNIT 18

愛情の効用

出典

Suzuki, David and Vanderlinden, Kathy. (2010) *You Are the Earth: Know Your World So You Can Help Make It Better*. Greystone Books Ltd.

背景知識

愛情は生物の基本的な感情であると同時に、私たち人間が健康に成長するのに必要不可欠な要素でもある。

愛情はどのように私たちの成長を促すのだろうか。筆者はそこにホルモンが深く関係していることを指摘している。愛情が欠乏した状態で育つと、子供たちには何が起こるのか。そして、その欠乏は後から補完できるのか。筆者は難しい問いに取り組んでいる。

用語

◆sucking

お乳を吸うこと。

◆hormone

ホルモン。血液中に分泌されて体内の特定の器官に送られ、その機能を調節する化学物質。

◆nursing

授乳。

◆bonding hormone

きずなホルモン。愛情ホルモンとも。人の信頼関係やきずなを強くするホルモン「オキシトシン」のこと。

◆cuddle chemical

抱擁物質。オキシトシンの俗称。

◆prairie vole

プレーリー・ハタネズミ。一夫一婦制で、同一のパートナーと長期にわたる関係を結ぶことで知られている。人間のカップルの結びつきに関する研究における実験用モデルとして採用されてきた。

参考文献・参考 URL

- デヴィッド・スズキ／キャシー・ヴァンダーリンデン(共著)，辻信一／小形恵(訳)
『きみは地球だーデヴィッド・スズキ博士の環境科学入門』(大月書店)
- オキシトシン～体内で働く“愛情物質”の正体 | 子育てメディア
(<http://kosodatamedia.com/archives/546>)

SWITCH 4

UNIT 19

チョコレート の 歴史

背景知識

現在、チョコレートは甘いお菓子として一般に認知されているが、その起源はどのようなものだったのだろうか。

主原料のカカオ豆はもともと新大陸で食されていたものである。開拓と征服の歴史において、チョコレートはヨーロッパで改良されながら広められ、現在の形になった。歴史上の重要な出来事とチョコレートの意外な接点が興味深い。

用語

◆ Christopher Columbus

クリストファー・コロンブス[1451-1506]。イタリアの航海者。スペイン女王の援助でアジアへの航海を計画。そこで新大陸（アメリカ大陸）を発見した。

◆ the New World

新世界。15～16 世紀にヨーロッパ人が発見した現在の南北アメリカ大陸。

◆ the Spanish King Ferdinand

フェルナンド 2 世[1452-1516]。カスティーリャ王女イサベルと結婚し、彼女の女王即位に伴ってカスティーリャ共治王に。さらに自身の父親からアラゴン王位を継承し、カスティーリャ=アラゴン連合王国（スペイン王国）を誕生させた。

◆ Queen Isabella

イサベル 1 世[1451-1504]。フェルナンド 2 世と結婚し、二人でスペイン王国を統治した。キリスト教の領土拡張を目指してコロンブスの新大陸発見のための航海を援助した。

◆ Hernando Cortez

エルナンド・コルテス[1485-1547]。スペインの探検家。メキシコに遠征し、アステカ帝国を征服し、スペインの植民地とした。

◆ Aztec

アステカ帝国。現在のメキシコ市の中心部で、14 世紀から栄えた文化。生贄の儀式があることで知られる。1521 年にスペイン人コルテスによって征服され、滅びた。

◆ Montezuma

モンテズマ(2 世)。アステカ帝国の帝王。

◆ *chocolatl*

ショコラトル。現在のチョコレートの起源で、すりつぶしたカカオ豆に香辛料を加えた甘くない飲み物。

◆ cocoa butter

ココア[カカオ]バター。カカオ豆の脂肪分。チョコレートの原料。

参考 URL

○チョコレート・ココアの歴史 | 日本チョコレート・ココア協会

(<http://www.chocolate-cocoa.com/dictionary/history/>)

○チョコレートの歴史 | 日本チョコレート工業協同組合

(<http://www.chocolate.or.jp/chocolate/history.html>)

SWITCH 4

UNIT 20

「待つこと」の心理的メカニズム

出典

Stone, Alex. "Why Waiting in Line Is Torture." *The New York Times*, 18 Aug. 2012.
<http://www.nytimes.com/2012/08/19/opinion/sunday/why-waiting-in-line-is-torture.html>

背景知識

「待つ」という行為には、しばしばイライラするという感情がつきまとう。特にサービス業においては、顧客に不快な思いをさせる重大なマイナス要素となるため、経営者たちは様々な手法で状況の改善を図ってきた。

しかし、単純に物理的な待ち時間を減らすだけでは必ずしも問題は解決しなかった。人が待つことの何に苦痛を感じるかという心理状況にまで踏み込んだアイデアを起用することで、状況が著しく改善したケースを、本文の流れに沿って読み解いていきたい。

用語

◆baggage claim

(空港の) 手荷物受取所。飛行機に搭乗する際に預けた手荷物を到着した空港で受け取る場所。

◆arrival gate

(空港の) 到着ゲート。到着した飛行機から飛行場の建物に入るところにあるゲート。

◆Disney

アニメーション・映画製作やディズニーランド運営などを行うアメリカの企業。創業者のウォルト・ディズニー (Walt Disney) [1901-1966]は、映画製作者で実業家。「ミッキー・マウス」の生みの親で、「ディズニーランド」の創設者でもある。

◆express line

エクスプレス・ライン、特急レジ。スーパーマーケットの商品少数購入者専用のレジ。欧米では一般的。

参考 URL

- ロサンゼルス MBA 留学日記：行列待ちの不満を（あまり）お金をかけずに解決する方法とは？ | ITmedia ビジネスオンライン
<http://bizmakoto.jp/makoto/articles/0803/03/news051.html>
- 知ってしまうと危険！？ディズニーの混雑・行列の謎 | 混雑嫌いでもディズニーを365日楽しむためのブログ
<http://www.disney-family.net/zatsugaku/crowd-enigmatic/>